

三島池

(みしまいけ)



全景



春の風景



マガモの飛来

ため池の概要

ため池の所在地

滋賀県米原市

ため池の特徴

三島池は、1200年代に造られた長い歴史のあるため池で現在も農地20haを潤しています。

池は水鳥の楽園であり、また冬の逆さ伊吹山が美しく、散策路も整備され、市民の親水空間として活用されています。

池には、例年10月上旬から下旬にかけてマガモが飛来します。1957年、2年間にわたる地元の大東中学校科学部の研究により、三島池がマガモ自然繁殖の南源であることが確認され、生物分布上貴重な発見となりました。その結果、県指定の天然記念物となり、永く保護されることとなりました。

三島池にはコイ、フナなどの魚類や水生昆虫も多く、また、池から注ぎ出る用水路にはゲンジボタルが綺麗な光を醸し出し、県内外から多くの観光客が訪れます。

この池には、次のような言い伝えが残っています。「その昔、この地の代官佐々木秀義がこの池を掘ったが水は出てきませんでした。一人の女を生き埋めにすれば水が湧出するという水神のお告げに従い、代官の乳母比夜叉御前が生きながら池底に入るとたちまち水が溢れ、その後、年中水が絶えることがなくなりました。」

関連情報

滋賀のため池50選ホームページ

http://www.pref.shiga.jp/g/noson/tameike-nigiwai/select-50/40_msmi.htm